

# 東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2020年9月1日発行

第33号(通巻第161号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

## 「のってたのしい列車」でのコロナウイルス感染防止 安心してサービスを提供できる対策を求める

新潟地本は8月18日、申26号『のってたのしい列車』における新型コロナウイルス感染防止対策に関する緊急申し入れの団体交渉を行いました。

コロナ禍にあっても安心して乗務し、お客さまにもご利用頂ける環境を実現するために労使で議論を行いました。

「のってたのしい列車」の運行を止めた理由と再開した理由を質しました。止めた理由について支社側は、新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発出され、感染リスクも明確でない中で対策を講じずに運行は出来ないと判断したと回答しました。

緊急事態宣言が解除されたことや、行政による感染防止のガイドライン整備が進んだことから、対策を講じて再開できると判断をしたとしました。



運行再開後の乗車率について、お盆期間中で満席となった号車があるものの、列車としては5〜60%程度であったとしました。発売制限に対する考え方を質すと、現段階では感染防止対策が取れているので発売制限は考えていないとして、需要があれば100%まで発売が可能であるとして、乗

対策の評価を質すと支社側は、市中では少しずつ感染者が増えてくるものの、社員・スタッフによりガイドラインに沿った対策がとられ、列車内においては感染はしないことから評価できるとしました。

乗車前の検温については、現段階では現行の対策で十分であり必要ないと考えを示しました。また、車内の消毒など対策を講じていることから、お客さまの連絡先を把握する考えもないとしました。

◆ 運転再開後の乗車率について、お盆期間中で満席となった号車があるものの、列車としては5〜60%程度であったとしました。発売制限に対する考え方を質すと、現段階では感染防止対策が取れているので発売制限は考えていないとして、需要があれば100%まで発売が可能であるとして、乗

### 申29号

## 人にしかできないサービスの体制強化を求め申し入れ

新潟地本は8月3日に団体交渉を行い、地区及び駅業務体制の見直しについて提案を受けました。

◆ 今回廃止が提案された新津地区は、北陸新幹線開業に伴う直江津地区の廃止により、新潟・長岡地区の管轄エリアが広範囲に及ぶことから、より細かな現場へのフォロー体制を担うために設けられたとの認識です。

◆ 今回の見直しにより再び新潟・長岡地区の管轄エリアが拡大することで、各

無いとしました。列車毎の対策を質すと、各イベントの中止に加え、「Shu\*Kura」では2号車の樽型テーブルでの飲食制限の追加、「S」Lばんえつ物語号」のオコジヨールームの利用制限、「海里」のコンパートメントへのアクリル板の設置等を挙げました。

◆ 現状、運行を続ける中でお客さまや社員・スタッフから不安の声が上がっていることを指摘し、安心して楽しめる環境の整備を求めると支社側は、これで完璧ということではなく必要により今後も必要ない対策を講じていくとの考えを示しました。

◆ 現場に様々な弊害が生じることが危惧されます。駅職場では現在、窓口の営業時間の短縮や作業ダイヤの見直しなど、社員・お客さまへの新型コロナウイルス感染防止対策を継続しながら、いつ自分が感染するかもしれないという不安を抱え先の見えない中で日々業務を遂行しています。

◆ 今回の見直しにより再び新潟・長岡地区の管轄エリアが拡大することで、各

## 申25号団体交渉終了 今冬期に向けて昨冬期を労使で検証

新潟地本は8月25日、申1対応を含めて車両側で25号・2019年度冬期検証に関する申し入れの団体交渉を行いました。

◆ 冬期体制を全系統で12月1日から統一するよう求めると支社側は、輸送・雪害・災害など対策本部の立ち上げは早くなつていて、統一しなくても体制は取れているとの認識を示しました。

◆ E129系デイスクブレーキの抜本的な凍結対策を求めましたが、メーカーを除き3日間だったとして

◆ 石打で試行した赤外線パネルヒーターについては、昨冬期は気温が高く効果等の確認ができなかったため、今冬も試行を行う予定であるとしました。

◆ 車掌の誘導による起動確認について、実施した日は年末年始、センター試験を除き3日間だったとして

- ◆ 毎日実施を前提としてその日ごとに取りやめた昨冬期の勤務の取扱いについて交渉団は、処理が膨大で輸送障害があれば対応できなかったとの事務職社員の声を挙げて、日ごとに行う指示とするべきだと訴えました。
- ◆ 支社側は、現場の負担に耐えないように考えていくと回答しました。
- ◆ 信越線下り初列車前のカッター車運行など、組合側の案が実現した項目も確認できました。
- ◆ 今回の交渉の内容をもとに、今冬期に向けて議論を創り出していきます。
- ◆ 29号として「地区及び駅業務体制の見直しについて」に対する申し入れを提出しました。
- ◆ 申29号申し入れ項目
  1. 現在の地区体制についての評価と今後の課題について明らかにすること。
  2. サーマスマネージャーの役割、資格、業務内容を明らかにすること。
  3. サーマスマネージャーを廃止するメリット、デメリットを明らかにすること。
  4. 長岡駅の旅客一般を△1とした理由を明らかにすること。
  5. お客さまのニーズがどのように変化したのか明らかにすること。
  6. 新潟駅のサーマスマネージャーを廃止しない理由を明らかにすること。
  7. 「変革2027」に謳われている目指すべき駅社員像、また声かけサポート運動に対し、今回の提案との関連性を明らかにすること。
  8. 越後湯沢駅のサーマスマネージャーを廃止しないこと。
  9. 越後湯沢駅の改札に新たな7H・1の担務を設けること。
  10. 長岡駅のサーマスマネージャーを廃止しないこと。
  11. 駅長、副駅長もお客さま案内に際し「車いすの取扱い」を行うとする具体的な想定を示し、周知すること。